

ほけんだより

令和5年11月9日
1年生向け
利尻中学校保健室

「性の多様性」について学習しました

11月8日(水)6校時、1年生と「性の多様性」について学習しました。性の要素やセクシュアルマイノリティについて学んだ後、多様な性の当事者の動画を見て、理解を含めました。また、性についてカミングアウトする立場とされる立場を演じて、その気持ちを感じてみました。



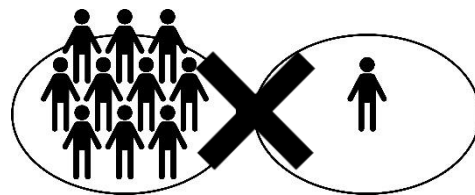
カミングアウトを受けたら...

聴く〜話してくれたことに感謝する
広めない(アウティングしない)
つなげる

セクシュアルマイノリティの人が近くにいるかもしれないという意識を持って生活してほしいこと、相談を受けたら、広めないこと、LGBTに限らず、少数派への差別はしてはいけないことなどを確認しました。

その前日は、国語の時間に主張作文発表会が行われ、愛美さんがLGBTについて、杉本と同じ思いを語ってくれて、より学習を深めることができました。

以下、ワークシートの記述や感想の一部を紹介します。



○カミングアウトしたときの気持ち

緊張 不安 怖い 気まずい

○カミングアウトされたときの気持ち

びっくり 嬉しい 感謝 いいと思う

○学習で印象に残ったことや、これからの生活に活かしたいと思うこと

もし、大人になったり、大学や高校に入学してカミングアウトしてくれる人がいたら、受け入れて支えてあげたいと思った。また、多数派が正解だと思わないようにする。

相手が自分からLGBTQAだと話してくれたときに、話したことを後悔させないようにする。

セクシュアルマイノリティの人でも、差別は絶対にしないで一人の人間として受け入れたいと思う。

人はそれぞれ違うので、自分と違うことがあっても、ひはんするのではなく受け止めようと思った。

